

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月29日

上場会社名 テルモ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 高橋 晃

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報室長

(氏名) 羽田野 彰士

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 03-3217-6550

平成21年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	158,063	0.7	32,550	3.5	32,239	△1.8	20,771	△9.7
21年3月期第2四半期	157,011	—	31,457	—	32,837	—	22,991	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	109.38	—
21年3月期第2四半期	118.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	398,253	298,316	74.9	1,570.37
21年3月期	379,064	278,166	73.4	1,464.27

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 298,208百万円 21年3月期 278,062百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
22年3月期	—	16.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	315,000	4.0	63,000	16.6	61,000	16.0	40,000	8.5	210.64

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

(下期想定為替レート; 1ドル=85円、1ユーロ=130円、年間想定為替レート; 1ドル=90円、1ユーロ=132円)

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 210,876,260株 | 21年3月期 | 210,876,260株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 20,978,790株 | 21年3月期 | 20,977,618株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 189,897,937株 | 21年3月期第2四半期 | 193,926,631株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月13日に公表致しました通期の連結業績予想を修正しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【 定性的情報・財務諸表等 】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界の経済情勢は、一部の指標にこそ明るい兆しが出始めたものの、景気は依然として厳しく、為替動向も含めた将来への不透明感が増しています。

一方、医療をめぐる環境変化という観点では、中国が政府主導での医療インフラ整備を強力に推進し国民皆保険に向け動き始めたほか、米国でも4500万人を超える無保険者を医療保険制度の改革で解消しようとする法案が提出されるなど、これまでにない大きな動きが相次いでいます。また、国内でも、公立病院を中心とした慢性的な赤字経営や医療従事者の苛酷な労働環境など、多くの課題解決に向けた制度見直しについて、議論、検討がなされています。

当社は、医療の質を高め、効率化を推進する商品とサービスを提供する事業を展開していますが、当期間についても、それらを引き続き推進しました。また、このような経営環境下、医療経済性がますます重要となる今後の世界市場の変化を見据え、経営体制の整備、事業領域の拡大にも取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

<売上高>

連結売上高は、国内は8%、海外は現地通貨ベースで9%の伸長となりました。トータルでは円高の影響を克服し、前年同期比1%増の1,581億円となりました。

地域別

(単位：百万円)

地 域	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率	為替影響除く 伸長率
日本	81,330	87,774	7.9%	7.9%
欧州	30,736	27,216	△11.5%	9.1%
米州	28,941	28,137	△2.8%	8.0%
アジア他	16,002	14,934	△6.7%	9.6%
海外計	75,681	70,289	△7.1%	8.8%
合計	157,011	158,063	0.7%	8.3%

国内では、第1四半期に引き続きプレフィルドシリンジ（注射器に予め充填した薬剤）が大きく売上を伸ばしました。また、狭心症などの治療に使われるPTCAバルーンカテーテルの新商品が好調で、カテーテル商品全体の売上が拡大しました。新型インフルエンザの影響による体温計の需要拡大、血圧計の新商品効果などからヘルスケア商品の売上が大幅に増加しました。

海外では、現地通貨ベースで二桁に迫る売上伸長となりました。一部、心臓手術に使用する大型機器の購入先送りは継続しているものの、カテーテル商品を中心として、欧州・米州・アジアでバランスよく売上が拡大しました。

商品群別

（単位：百万円）

事業の種類別の セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率	為替影響除く 伸長率
ホスピタル商品群	75,219	75,191	△ 0.0%	3.6%
心臓・血管領域商品群	66,611	67,412	1.2%	13.3%
輸血関連商品群	12,586	11,791	△ 6.3%	3.2%
ヘルスケア商品群	2,593	3,668	41.4%	44.0%
合計	157,011	158,063	0.7%	8.3%

心臓・血管領域商品群は、国内外ともカテーテル商品が売上を牽引、円高の影響をカバーし増収を確保しました。また、ヘルスケア商品群も引き続き体温計が売上を牽引し大幅な伸長となりました。

一方、ホスピタル商品群は、国内ではプレフィルドシリンジ、輸液剤などの医薬品が好調に売上を伸ばしましたが、円高の影響から、トータルの売上は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。輸血関連商品群は、海外の売上比率が高く、円高の影響を大きく受けたことからマイナス伸長となりました。

<粗利益・営業利益>

粗利益は、高収益品へのシフトに加え、ベトナム工場などアジアでの生産拡大、生産効率向上によるコストダウン、原材料価格の低下など改善がみられたものの、為替の影響が大きく、粗利益率は前年同期比で1ポイント低下し52.7%となりました。一方、前年度下期の粗利率50.7%からは2ポイントと大きく改善しました。

販管費は、研究開発費については増加した一方、一般管理費の効率運用を徹底した結果、販管費率は前年同期比で1.6ポイント改善し32.1%となりました。

この結果、営業利益は、前年度下期の大幅な落ち込みから回復し、営業利益率は前年同期比0.6ポイント増の20.6%、326億円となりました。

<経常利益>

営業外で前年度上期には為替差益を6億円計上しておりましたが、当年度上期は為替差損を8億円計上したため、前年同期比で1.8%減の322億円となりました。

<四半期純利益>

前年度上期は、海外子会社受取配当金による影響などで税率が低かったことから、前年同期比で9.7%減の208億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ192億円増加して3,983億円となりました。

流動資産は159億円増加して2,096億円となりました。現金及び預金が131億円、受取手形および売掛金が51億円増加、また、たな卸資産が4億円減少しました。

固定資産は33億円増加して1,887億円となりました。有形固定資産は主に建設仮勘定により11億円増加しました。無形固定資産は21億円減少しました。また、投資その他の資産は時価評価により投資有価証券が81億円増加、これにより繰延税金資産が35億円減少、全体では43億円増加となりました。

負債の部は10億円増加し999億円となりました。

流動負債は15億円減少して922億円となりました。なお、当連結会計期間に短期借入金の返済52億円を行っております。

固定負債は5億円増加して77億円となりました。

純資産の部は、201億円増加して2,983億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.5ポイント増加し、74.9%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期見通しにつきましては、下期の想定レートを1ドル＝85円、1ユーロ＝130円に見直した上で、各利益を上方修正いたしました。新商品開発のグローバル展開の推進に向けて、この下期も研究開発費、販促費などの成長投資を積極的に投下する一方、一般管理費を中心とした効率運用を引き続き徹底し、収益力の強化に努めてまいります。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	315,000	56,000	56,000	37,500	197.47
今回修正予想 (B)	315,000	63,000	61,000	40,000	210.64
増減額	—	7,000	5,000	2,500	13.17
増減率 (%)	—	12.5%	8.9%	6.7%	6.7%
前期実績	302,746	54,039	52,580	36,878	191.86

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

1) 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,194	57,073
受取手形及び売掛金	71,946	66,865
商品及び製品	32,369	33,272
仕掛品	5,896	6,373
原材料及び貯蔵品	15,917	14,945
繰延税金資産	9,681	9,687
その他	4,260	6,173
貸倒引当金	△701	△733
流動資産合計	209,563	193,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,863	41,545
機械装置及び運搬具（純額）	31,748	33,067
土地	20,236	20,303
リース資産（純額）	638	548
建設仮勘定	11,732	8,584
その他（純額）	6,927	7,015
有形固定資産合計	112,147	111,064
無形固定資産		
のれん	23,529	26,823
その他	7,083	5,923
無形固定資産合計	30,612	32,747
投資その他の資産		
投資有価証券	31,827	23,686
繰延税金資産	7,981	11,528
その他	6,121	6,378
投資その他の資産合計	45,929	41,593
固定資産合計	188,689	185,406
資産合計	398,253	379,064

テルモ株式会社（4543）平成22年3月期 第2四半期決算短信

（単位：百万円）

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,039	27,812
短期借入金	20,000	25,190
リース債務	187	161
未払法人税等	10,866	6,022
繰延税金負債	301	173
賞与引当金	5,024	4,758
役員賞与引当金	94	172
設備関係支払手形及び未払金	6,404	5,605
その他	23,294	23,804
流動負債合計	92,212	93,700
固定負債		
リース債務	473	409
繰延税金負債	23	103
退職給付引当金	4,269	3,691
役員退職慰労引当金	658	659
その他	2,299	2,331
固定負債合計	7,724	7,196
負債合計	99,937	100,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	59,030	59,030
利益剰余金	299,791	282,058
自己株式	△76,805	△76,800
株主資本合計	320,733	303,005
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△191	△5,118
為替換算調整勘定	△22,333	△19,823
評価・換算差額等合計	△22,524	△24,942
少数株主持分	107	104
純資産合計	298,316	278,166
負債純資産合計	398,253	379,064

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	157,011	158,063
売上原価	72,729	74,795
売上総利益	84,282	83,268
販売費及び一般管理費	52,824	50,717
営業利益	31,457	32,550
営業外収益		
受取利息	689	249
受取配当金	251	114
受取ロイヤリティー	62	73
為替差益	615	—
持分法による投資利益	29	41
その他	617	437
営業外収益合計	2,265	915
営業外費用		
支払利息	125	85
売上割引	271	287
為替差損	—	755
たな卸資産処分損	151	41
その他	336	57
営業外費用合計	885	1,227
経常利益	32,837	32,239
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	80	—
貸倒引当金戻入額	—	42
特別利益合計	83	42
特別損失		
固定資産処分損	134	52
特別損失合計	134	52
税金等調整前四半期純利益	32,787	32,229
法人税、住民税及び事業税	10,202	11,191
法人税等調整額	△424	242
法人税等合計	9,777	11,433
少数株主利益	18	24
四半期純利益	22,991	20,771

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	32,787	32,229
減価償却費	8,534	8,605
のれん償却額	980	854
持分法による投資損益 (△は益)	△29	△41
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△114	622
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△68	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15	△24
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△94	△77
受取利息及び受取配当金	△941	△363
支払利息	125	85
為替差損益 (△は益)	△83	705
固定資産処分損益 (△は益)	134	52
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3	△0
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△80	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,234	△5,554
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,005	△281
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,329	△1,749
その他	△6,555	3,029
小計	29,696	38,089
利息及び配当金の受取額	1,092	523
利息の支払額	△200	△89
法人税等の支払額	△17,422	△6,589
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,165	31,934
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,973	△12,896
定期預金の払戻による収入	1,831	6,383
有形固定資産の取得による支出	△8,548	△9,023
有形固定資産の売却による収入	3	2
無形固定資産の取得による支出	△463	△444
投資有価証券の取得による支出	△1	△107
投資有価証券の償還による収入	—	100
投資有価証券の売却による収入	580	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,286	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,857	△15,986
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△35,040	△5,190
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△98
自己株式の取得による支出	△35	△4
配当金の支払額	△3,490	△3,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,566	△8,331
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,117	△555
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△38,375	7,061
現金及び現金同等物の期首残高	85,377	55,067
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,001	62,128

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位：百万円)

	ホスピタル 商品群	心臓・血管 領域商品群	輸血関連 商品群	ヘルスケア 商品群	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	75,219	66,611	12,586	2,593	157,011	—	157,011
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	75,219	66,611	12,586	2,593	157,011	—	157,011
営 業 利 益	16,115	19,157	2,125	143	37,542	△6,085	31,457

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位：百万円)

	ホスピタル 商品群	心臓・血管 領域商品群	輸血関連 商品群	ヘルスケア 商品群	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	75,191	67,412	11,791	3,668	158,063	—	158,063
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	75,191	67,412	11,791	3,668	158,063	—	158,063
営 業 利 益	17,339	19,411	1,652	574	38,976	△6,426	32,550

(注) 1. 各事業区分の主な製品

事業区分	売上区分	主要製品
ホスピタル 商品群	ホスピタル医療器	シリンジ（注射筒）、注射針、輸液セット、静脈留置針、 真空採血管、輸液ポンプ、シリンジポンプ 他
	医薬品類	輸液剤、高カロリー輸液剤、プレフィルドシリンジ、栄養食品 他
	腹膜透析関連	腹膜透析システム
	糖尿病関連	血糖測定システム
	在宅医療関連	在宅輸液システム、酸素濃縮器 他
心臓・血管 領域商品群	カテーテル システム	血管造影用カテーテル、PTCA用バルーンカテーテル、 コロナリースtent、脳動脈瘤治療用コイル 他
	人工心肺システム	人工肺、体外循環システム 他
	人工血管	人工血管
輸血関連商品群	輸血関連	血液バッグ、血液自動製剤システム 他
ヘルスケア商品群	ヘルスケア商品	家庭用電子体温計、家庭用電子血圧計、血糖測定システム(OTC市場) 他

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	欧州	米州	アジア他	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	81,355	30,736	28,941	15,977	157,011	—	157,011
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	24,643	1,814	3,394	7,237	37,090	△37,090	—
計	105,998	32,550	32,336	23,215	194,101	△37,090	157,011
営業利益	28,225	4,271	1,521	4,102	38,121	△6,663	31,457

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	欧州	米州	アジア他	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	87,784	27,216	28,137	14,924	158,063	—	158,063
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	23,516	2,236	2,835	7,674	36,263	△36,263	—
計	111,300	29,453	30,973	22,599	194,327	△36,263	158,063
営業利益	29,889	4,064	1,684	4,374	40,012	△7,461	32,550

(注) 1. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域 ・ ・ ・ 欧州：ベルギー、イギリス、ドイツ等
米州：アメリカ、カナダ、メキシコ等
アジア他：中国、UAE、タイ等

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位：百万円)

	欧 州	米 州	アジア他	計
I. 海外売上高	30,736	28,941	16,002	75,681
II. 連結売上高				157,011
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	19.6%	18.4%	10.2%	48.2%

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位：百万円)

	欧 州	米 州	アジア他	計
I. 海外売上高	27,216	28,137	14,934	70,289
II. 連結売上高				158,063
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	17.2%	17.8%	9.5%	44.5%

(注) 1. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域・・・欧 州：ドイツ、フランス、イタリア等

米 州：アメリカ、カナダ、メキシコ等

アジア他：中国、タイ、オーストラリア等

(注) 2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

 **TERUMO[®]**

人にやさしい医療へ